

株式会社 ALBERT (東証マザーズ 3906)

SBIホールディングス株式会社との 資本業務提携について

(補足説明資料)

2021年6月9日

アルベルト
株式会社ALBERT

〒169-0074
東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー15F
TEL: 03-5937-1610 FAX: 03-5937-1612
www.albert2005.co.jp/

SBIホールディングスとの資本業務提携の開始

- 2021年6月9日付でSBIホールディングス（SBI）との間で資本業務提携契約を締結。2021年6月30日にSBIの100%子会社で金融サービス事業の中間持株会社であるSBIファイナンシャルサービシーズが当社株式の31.29%を取得予定。
- SBIグループは保有するビッグデータを活用し、グループ内でのデジタルトランスフォーメーション（DX）を加速。提携を機に、SBIホールディングスが推進する様々なプロジェクトでの連携に加え、SBIグループ各社とも連携し、既存ビジネスの高度化及び新規事業創出による、業界を横断した変革の起点となることを目指す。



- ✓ 業界最多の600万超の顧客基盤を有するオンライン証券
- ✓ 証券ビジネスに加え、AMビジネス、保険、医療等、**様々な事業ポートフォリオ**
- ✓ 地方創生に向けて**多様な業種の企業と連携**
- ✓ グループ外企業との**シナジー創出に向けたオープン・アライアンスを推進**
- ✓ IT企業、バイオ企業への積極的な投資実績



- ✓ **約250名のデータサイエンティスト**
- ✓ 金融の他、自動車、製造、通信、流通/インフラにおける**ドメイン知識、データ利活用ノウハウの蓄積**
- ✓ CATALYST戦略に基づく**国内トップ企業との連携実績**
- ✓ 国内トップ企業が保有する**データセットへの理解**

資本業務提携によるシナジー

- SBIグループ内における全社的なDX戦略の促進
- SBIグループの実績・ノウハウの活用による、**ALBERTの「CATALYST戦略」の更なる推進**

株主構成（異動後想定）^(注1)

- 当社筆頭株主のウィズ・アジア・エボリューション・ファンド（ウィズ）が保有する全株式をSBIホールディングスの100%子会社で金融サービス事業の中間持株会社であるSBIファイナンシャルサービシーズ株式会社へ6月30日付で譲渡。

異動前（2020年12月31日時点）

緑字：CATALYSTパートナー（提携先）

株主名	株数（株）	比率
1 ウィズ・アジア・エボリューション・ファンド	1,383,100	31.3%
2 トヨタ自動車	165,800	3.8%
3 マイナビ	165,800	3.8%
4 マクニカ	163,000	3.7%
5 日本ユニシス	133,600	3.0%
6 KDDI	97,700	2.2%
7 SBI証券 ^(注2)	89,700	2.0%
8 BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	87,900	2.0%
9 BNY GCM ACCOUNTS M NOM	77,100	1.7%
10 住友生命保険	71,300	1.6%
13 東京海上日動火災保険	46,800	1.1%

異動後（想定）（2021年6月30日時点）^(注1)

株主名	株数（株）	比率
1 SBIファイナンシャルサービシーズ	1,383,100	31.3%
2 トヨタ自動車	165,800	3.8%
3 マイナビ	165,800	3.8%
4 マクニカ	163,000	3.7%
5 日本ユニシス	133,600	3.0%
6 KDDI	97,700	2.2%
7 BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	87,900	2.0%
8 BNY GCM ACCOUNTS M NOM	77,100	1.7%
9 住友生命保険	71,300	1.6%
12 東京海上日動火災保険	46,800	1.1%

(注1) 2020年12月31日時点の株式数を前提にウィズからSBIファイナンシャルサービシーズへの譲渡を加味した想定株主構成。

(注2) SBI証券は現在当社株式を保有していないため異動後の想定株主構成には含まず、2020年12月31日時点で8位以下の株主を繰り上げて記載。

CATALYSTパートナーマップ

- 新たに金融領域におけるCATALYSTパートナーとしてSBIグループが参画。
- これまでどおり産業横断的なデータシェアリングを目指して「CATALYST戦略」を一層推進していく方針。

重点産業	CATALYST パートナー		提携先との主なアクション例
自動車	TOYOTA	CATALYST戦略の実現に向けた協働パートナー	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転AIシステム構築支援 グループ企業へのデータ及びAI利活用支援
製造		MACNICA	<ul style="list-style-type: none"> スマートファクトリー化支援 AI開発導入支援サービスの共同開発
通信	KDDI		<ul style="list-style-type: none"> ライフデザインサービスのマーケティング分析支援 DXソリューションの外販共同推進
流通・インフラ	マイナビ	UNISYS	<ul style="list-style-type: none"> 流通産業及びインフラ産業を中心としたDX支援 AIを活用したHR関連事業の高度化推進 DX人材育成サービスの共同開発
金融	TOKIO MARINE NICHIDO	SMBC	<ul style="list-style-type: none"> 事故動画解析システムの共同開発 金融サービスのデータ利活用支援 SBIグループ内における全社的なDX戦略の促進

- CATALYST戦略における各重点産業の提携はいずれも非排他的なものであり、更なる提携関係の拡大を進める。

新経営体制への移行

- 筆頭株主のウィズ・アジア・エボリューション・ファンド（ウィズ）の全保有株式の譲渡に伴い、ウィズの運用会社であるウィズ・パートナーズに所属する4名の当社取締役の退任および新経営体制の発足に向けた手続きを開始。詳細は確定次第、随時お知らせ予定。

新経営体制における注力領域

- ① CATALYST戦略の更なる推進（提携先の拡大継続）
- ② 自動車、製造、通信、流通・インフラ、金融の各重点産業における汎用ソリューション開発の加速
- ③ 国内リーディングカンパニーのDX推進パートナーとしてのポジション確立（短期的なプロジェクト受注ビジネスからの脱却）
- ④ 健全な財務体質を維持したうえで、資本効率重視の経営及び機動的な資本政策の遂行（M&A、株主価値の向上施策等）
- ⑤ 取締役会機能の更なる充実による事業成長及びガバナンス機能強化の推進
- ⑥ 機関投資家及び個人投資家との対話を重視したIRの実践

新経営体制への移行に向けたスケジュール

2021年6月9日（本日）	資本業務提携契約の締結（SBIホールディングス、当社間） 株式譲渡契約の締結（ウィズ、SBIファイナンシャルサービシーズ間）
2021年6月30日	株式譲渡実行日
2021年8月13日（予定）	当社2021年12月期第2四半期決算発表
2021年8月末日まで	臨時株主総会の開催（新たな取締役の選任決議）



Appendix



会社概要



社名	株式会社ALBERT（アルベルト）
所在地	東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー15階
設立	2005年7月1日
代表者名	代表取締役社長 松本 壮志
証券市場	東証マザーズ（証券コード：3906）
資本金 ※	1,022,967千円
従業員数 ※	276名（データサイエンティスト244名）
加盟団体	人工知能学会

※資本金、従業員数は2021年3月末時点
※従業員数には正社員、契約社員、アルバイト、派遣社員を含む

ALBERTの新MISSION

- 2020年に創業15周年を迎え、これまで大切にしてきた想いと、これから目指す姿を社員自身の言葉で言語化し、新たなミッションを定めました。



MISSION

データサイエンスで 未来をつむぐ

We are the CATALYST.

ALBERTは、データサイエンスで世界をつなぎ、より良い未来のために新たな価値を共創します。

つむぐ

過去に得られたデータは、それだけではただの情報の集合体です。データサイエンスでそれを織り集め、つむいでいくことで、未来を想像し、これまで予測できなかったような新しい価値を創造することを可能にします。

人工知能 (AI) の活用が進み、様々な視覚的・聴覚的情報がこれまで以上に意味を持ち始めている今、ただAIが従来の人判断を代替するだけでなく、より良い未来につながる新たな価値を生み出せるように、そしてわたしたちが創造する新たな価値がこれから先の未来にも引き継がれるように、データサイエンスの力でAI社会実装のパートナーとして新たな価値を共創していきます。

ひとりひとりが“CATALYST(カタリスト)”として

ALBERTは「CATALYST (触媒) 戦略」を掲げ、産業間のAI・データシェアリングによるAIネットワーク化社会の実現を目指しています。

“CATALYST”には、「触媒」という意味のほか、「加速させるもの」「相手にきっかけや刺激を与える人」という意味があります。

わたしたちは、データサイエンスの社会実装を通して、産業間に新たな化学反応を起こし、変革をもたらす“CATALYST”でありたいと考えています。

ALBERTは、創業以来「分析力をコア」とするデータサイエンティスト集団として成長を遂げて参りました。今後も人工知能 (AI) や機械学習技術を駆使したデータソリューションで、あらゆる産業の問題解決に貢献してまいります。

ALBERTの事業概要・特徴

- 当社は、①クライアント毎に特化したビッグデータ分析、アルゴリズム開発、AIのシステム実装等を提供するプロジェクト型サービス、②幅広いクライアントを対象とするAIを搭載した汎用的な自社プロダクトの提供、③データサイエンティスト育成支援 の3つの事業サービスを展開。

① プロジェクト型サービス
～産業に実装されるAIの開発パートナー～

② 自社プロダクト
の提供

③ データサイエン
ティスト育成支援

継続性の高い受託型プロジェクトによる収益

ライセンス収益

受託型プロジェクトによる収益

AI活用意欲の強い
産業に注力

ビッグデータ集積
からAIシステム
実装まで一気通貫

244名の
データサイエン
ティスト集団

- AIの実装を視野に入れた**投資意欲の旺盛な産業**を中心に注力
- 5つの重点産業に注力
 - ① 自動車
 - ② 製造
 - ③ 通信
 - ④ 流通・インフラ
 - ⑤ 金融

- 各産業・企業の課題を受託開発型プロジェクトで対応
- AI開発プロセスを一気通貫で対応
 - ①ビッグデータ集積
 - ②ビッグデータ分析
 - ③アルゴリズム開発
 - ④AIシステム実装

- 主に数理統計分野をバックグラウンドとするデータサイエンティストを組織化
- 独自の育成プログラムで継続的なスキル向上に努める
- **先進・先端技術開発を行う専門チームを組成し、技術開発支援を開始**

- AI・高性能チャットボット



- AI・画像認識サービス



画像認識シリーズ
- 異常検知
- アノテーション

- **経済産業省の「第四次産業革命スキル習得講座 認定制度」に認定**
- 提携企業を含む国内企業のデータサイエンティスト養成ニーズにも対応
- **小規模の受講ニーズに応える双方向ライブ配信の公開講座を提供開始**

ALBERTのCATALYST（触媒）戦略

- 当社が各産業と横断的に関わることにより、AIアルゴリズム・データの触媒機能となり、産業間のAI・データシェアリングを促進し、AIネットワーク化社会を目指す。
- ビッグデータ集積及び分析・アルゴリズム開発（共同プロダクト開発含む）・システム実装を一気通貫で担い、データ活用社会における中心的なポジショニングを確立させる。



免責事項



- 本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報 (forward-looking-statements)」を含みます。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社または当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。
- これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動等、一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

お問い合わせ先

株式会社ALBERT 経営戦略部

〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー15階

TEL : 03-5937-1389

E-mail : ir@albert2005.co.jp

URL : <https://www.albert2005.co.jp/>